

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	小金井市前原町 3-11-12
園名	小金井市立わかたけ保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

思い切り体を動かし、実際に体験することで自然を感じる。

<テーマの設定理由>

近くに野川があり、自然の中で川遊びや虫取り等、日頃楽しんでいる姿がある。
園内でも広い園庭を活かし、思い切り水遊びや泥んこ遊びを楽しめる環境を整え、様々な感触を実際に体験できるように上記のテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

4月 砂場の砂購入。砂を入れかえて砂場整備をする。

6月 水、泥んこ遊び

9月 水、泥んこ遊び

園庭整備。2歳児室テラス前に、温水も出る水道、シャワー設置工事。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【素材、道具】

シャベル、バケツ、スノコ、塩ビ管、大小、長短様々な木の板、車、船

【環境設定】

園庭に泥んこ遊び、色水遊びができるエリアをつくる。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

【川作り】

- ・ 砂場に山を作り、穴を掘り、水の通り道を作る。
- ・ 子どもたちがそれぞれバケツを持ち、水道から水を汲んで持ってくる。
- ・ 水を流し、水の勢いを知る。水が足りなくなったら、友だちに声をかけながら水を運ぶ。
- ・ 泥や水の感触を楽しむ。様々な板を使い、橋を作る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・ 工事で設置された水道は、蛇口が低くなったことで乳児クラスの子も自分で水を運ぶ体験ができるようになった。
- ・ 「橋を架けたい」という発想が生まれ、友だちと相談して橋を作っていた。
- ・ 水をどんどん入れることで、水の勢いで穴が広がる様子を見て「もっと水を入れてみよう」「トンネルできるかな」と、新たなトンネルが生まれ橋をつくり、水の流れを楽しんだ。
- ・ 一人の発想から共有できる仲間が増え、同じことをして楽しむ姿がみられた。





5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・最初は、必要な水の量を入れ物にいれて大人が子どもに手渡ししていたが、自分で水道から水を入れて運ぶことができることに気が付いた。運ぶ時の水の扱い方(入れすぎると重かったりこぼれる等)を、子ども自身が体験し気が付いていた。すべて大人がやるのではなく、一人ひとりの体験が大切であると感じた。子どもたちは、またやりたいと期待を持っている。環境設定が大切だとあらためてわかった。
- ・今年度は、園庭の環境設定を重要視し、子どもが蛇口を扱える温水も使える水道を設置した。しかし、工事が予定より遅れてしまい、活動としては予定より少なかった。
- ・次年度も園庭環境整備を引き続き行ない、泥や水の感触を感じて楽しみながら、発想力を育てていく。